

# 若手研究者コラムリレー

## 石村 広明 (いしむら ひろあき)



### プロフィール

東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス ものづくり工学科 助教  
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: スポーツ人類学

大阪府富田林市出身

2017年 天理大学大学院体育学研究科 修了  
2018年 天理大学 体育学部 助教  
2020年 桃山学院大学 スポーツ教育センター 共通教育機構講師  
2023年 現職

E-mail: h-ishimura@metro-cit.ac.jp



去年からBaseball5を始めました

### わたしの研究

#### アマチュア野球界の文化理解

私は8歳から野球を始め、大学まで競技を続けていました。卒業後も草野球でプレーを続けながら、高専の野球部顧問としても野球に関わり続けています。様々なステージでプレーしていると当時は当たり前だと思っていたことも「よく考えたらアレ変やったな」や「なんであんなルールやったんやろ?」と疑問に思うことが数多くあり、それらがチーム独自の文化(その集団における共通認識や価値観)であったことに気づかされました。そうした独自の文化が集団の中でどのように機能しているのかをインタビュー調査から明らかにしたものが修士論文の内容です。こうした視点は異文化や他集団の価値観を理解する際に役立っています。

その後、高校野球や学童野球、女子野球などのカテゴリーを対象として、それらが有する独自の文化や取り巻く環境について調査をしてきました。なかでも高校野球カテゴリーは、タイプレーク制や球数制限の導入、さらには新規格(低反発)バットの導入など、変化と対応を求められています。現在、東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスの野球部の顧問として野球部の指導に携わっています。1~3年生は高等学校野球連盟に所属しているため、いわゆる高校野球の大会に参加しています。高専生であるというアイデンティティと高校野球のステージで戦うこととの部員の機微やその解釈について調査していきたいと考えています。

わたしの渾身の論文・書籍・記事



石村広明 (2022) 「新たな野球文化を創出する少年野球チームの事例研究-フィールドワーク調査を通して-」、『ベースボールジャーナル』第15巻,56-78.

### (なんでも帳)

#### 【アーバンスポーツ・Baseball5の魅力】

Baseball5とは、2017年に世界野球ソフトボール連盟(WBSC)によって考案されたアーバンスポーツです。1チーム5人制(公式ルールでは男女混合)、5インニングの攻防を繰り返すベースボール型の競技で、ゴム製のボールを手で打球し、素手でキャッチするのが最大の特徴となっています。ゴムボール1つさえあればどこでも楽しむことができることから、野球・ソフトボール振興の一環として期待されています。

しかしながら、野球ソフトボールの新興を目的の一つと掲げる一方で、アーバンスポーツとして野球ソフトボールと差別化を明確に図るような動き(チームウェアの規定など)も読み取れます。このようなBaseball5の有する文化的な特徴を紐解いていきたいと考えています。また、ベースボール型競技の入門編として学校体育の場面での活用も行われており、ますます競技としての広がり期待が持たれます。

私は現在、東京都文京区にあるBaseball5チームに所属しており、昨年の日本選手権ではベスト4入りを果たしました。今年は12月に開催されるブロック予選を勝ち抜き、1月の日本選手権での優勝、そして日本代表入りを目指して頑張っています!!!



日本体育・スポーツ・健康学会  
若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました! → メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

[taiikugakkaiwakate@gmail.com](mailto:taiikugakkaiwakate@gmail.com)

